

丸山物流株式会社



本社外観

- 本社所在地：大阪府大阪市港区
- 事業概要：国内輸送、輸出入、倉庫保管
- 常時使用する従業員：63名
(2026年1月時点)
- 現在の売上高：40.9億円
(2025年3月期)
- 法人番号：9120001029860
- Web：
<http://www.maruyamabutsuryu.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
西谷 敬三

国内へ。海外へ。陸海空によるドアtoドアの総物流サービス

当社は創業以来73年間、陸・海・空による国内外に向けた総物流サービスに力を注いでまいりました。今後も変わらず追い求めるのは、サービスを通じて「人との深い絆」を結ぶこと。より早いスピードでお客様のご満足頂けるサービスを提供する。その実現に向けて当社は2015年1月より阪神港での港湾荷役事業をはじめ全国で幅広い事業を展開する吉川グループの一員となりました。今後は「現場力・機動力」の拡充により、様々な角度からお客様のニーズに即した物流プランをご提案致します。未来を見据えた「人材の育成」。そこから生み出す品質をお客様へお届けする物流サービスを、吉川グループ丸となり、これからも提供し続けてまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2030年の売上高100億円達成に向け、継続的に高い成長を目指す。



課題

物理的インフラの不足

- ・旺盛な需要に対し、倉庫の保管能力が追いついていない。
- ・高付加価値商品に対応な高機能倉庫が不足している。

事業構造の変革

- ・業務改善に着手し、現状扱っているシステムを刷新する必要性。
- ・燃料費や人件費の上昇を、販売価格へ適切に反映する必要性。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

DXの推進とIT活用

- ・運行管理や労務管理を一元化し、生産性を向上させる。
- ・倉庫業務の自動化やデジタル化を進め、人手不足に対応する。
- ・独自の物流管理システムを構築し新たなサービスを提供する。

事業領域の拡大と高付加価値化

- ・低温倉庫等、特定のニーズに対応した施設を新設する。
- ・荷主企業の物流全体を包括的に受託する、高度な3PLサービスの提供を目指す。

実施体制

ボトムアップでの推進

- ・現場の意見を重要視した上で、経営層が改革を推進する。
- ・人材確保・育成や新規事業の推進、販路開拓等、特定の目的に特化した専門チームを新設し、実行力を高める。

外部リソースの活用

- ・DX化では、外部のシステム会社や専門家と密に連携する。
- ・主要顧客やグループ会社と連携して事業を推進する。